

科目名	総合日本語 I						
科目名(英)							
単位数	20単位	時間数	300時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本となる言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	○				学校、教室、店、駅などの身近な場面で簡単なやりとりをしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I・II 第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 12	プレイスメントテスト・オリエンテーション・ひらがな・カタカナ				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	12 ～ 24	第1課～第3課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	25 ～ 40	第4課～第7課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	41 ～ 60	第8課～第12課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	61 ～ 76	第13課～第16課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	77 ～ 88	第17課～第19課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	89 ～ 90	第20課～第22課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	91 ～ 110	第23課～第25課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	111 ～ 134	第26課～第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
135 ～ 150	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを7回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%

<b>履修上の注意</b>	出席が100回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。	
	○	○				自分についての簡単な質問に答えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I・II 第2版』 本冊 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第4課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第5課～第8課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第9課～第12課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第13課～第16課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第17課～第20課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	第21課～第23課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	第24課～第26課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	第27課～第29課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	第30課～第32課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	確認テスト・復習					
評価方法	(1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)確認テスト(口頭) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	会話作成・発表	○	○		○		50%
	確認テスト	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って聞き取る練習をします。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行います。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『聴解タスク25』 スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1課～第4課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	2	第5課～第8課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	3	第9課～第12課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	4	第13課～第16課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	5	第17課～第20課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	6	第21課～第23課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	7	第24課～第26課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	8	第27課～第29課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	9	第30課～第32課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
10	第33課～第35課				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				初級の言葉や文型を使って、文章の構成に注意しながら、自分の表現したいことを書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫他 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	わたしの部屋				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	わたしの国・町				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	わたしの家族				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	週末				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	はがき				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	プレゼン				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	旅行				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	9	もしわたしが二人いたら				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	10	趣味				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	いろいろなトピックのお知らせ、手紙、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなどを使って、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わうことを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで内容を予測することができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第4課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	第5課～第8課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	第9課～第12課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	第13課～第16課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	第17課～第20課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	第21課～第23課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	第24課～第26課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	第27課～第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	第30課～第32課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
10	第33課～第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)1年						
授業概要	日常生活でよく使う約1400の言葉を覚え、使えるようになることを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日常生活でよく使う約1400の言葉を読んだり書いたりすることができる。	
		○				日常生活でよく使う約1400の言葉を適切な場面で適切に使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I・II 第2版』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第4課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第5課～第8課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第9課～第12課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第13課～第16課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第17課～第20課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第21課～第23課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第24課～第26課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第27課～第29課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第30課～第32課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
10	第33課～第35課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						